

知れば知るほど奥が深い

お米作りのきほんの **き**

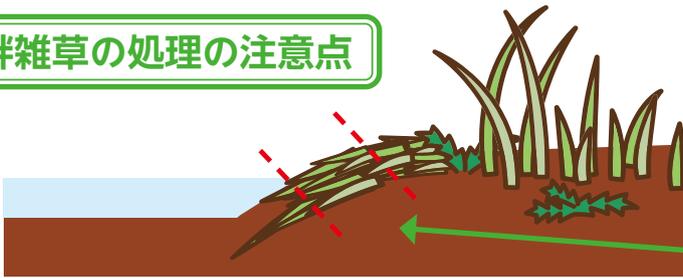


～ レベルアップ 畦畔雑草と田植えのポイント 編～



田植えの時期が近づいてきました。
苗代で養生した稲苗が今か今かと待っています。仕上げの代かきを均一に行うことで、初期生育が整い、初中期除草剤の効果も高まってきます。また、最近では畦畔雑草が田んぼ内に侵入し稲に絡みつくことで稲刈りがやりづらいなどの問題が発生しています。今の時期から対処することで後々作業が楽になります。
今回は、畦畔雑草と田植えについてポイントをおさえていきましょう!!

畦畔雑草の処理の注意点



Point
イボクサなどは、切っても、そこから根を出して圃場内に侵入してくるので、畦畔では、バスタなどを使用しましょう。

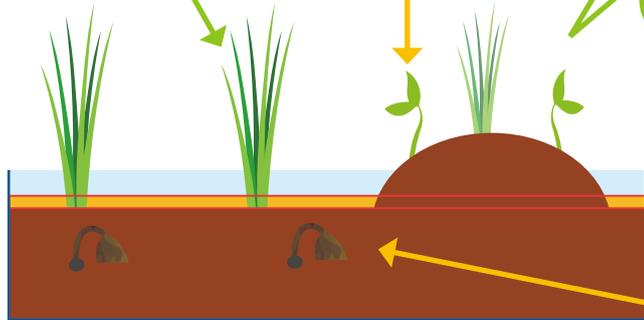
耕起や代掻きをしっかりとすることで発生したイボクサなどを土の中に埋め込み、深水して水没させることで生育を抑制させる。

また、畦畔に発生しているイボクサを除草剤で枯らす。畦畔に除草剤が使えない場合は、手で抜く。

田植えのポイント

稲苗：深植えしすぎないように注意

雑草



田植えは最初（代かき）が重要

代かきを均一にしないと、田面が見えているところは除草剤の処理層ができずに雑草が生えやすくなり、生育にもムラができる。

水：浅水で田植えをし、植え終わったら水深を5cmくらいにする

除草剤処理層：強い水流や直接紫外線にあたると壊れる恐れがあるので注意

雑草：処理層に当たった芽が枯れて枯死する

肥料（指針掲載）



Point
肥料は、田植え直前または1週間前以内に施肥をすると初期生育が良くなる。全層施肥する場合は、耕起や代かきのタイミングで行うと混ぜやすい。他には、側条施肥で田植えと同時に施肥する方法もある。

肥料の種類	肥料名	成分	特徴
一発肥料	スーパーSRコート802 (オレンジ 120日タイプ) (緑 140日タイプ)	18-10-12	早生品種ではオレンジ色の袋を使用 (肥料が溶けるのが早い) 中生品種では緑色の袋を使用 (肥料が溶けるのが遅い)
化成肥料	苦土入り燐加安380号	13-8-10	苦土入りなので水稻に向いている